

《インタビュー》

高圧導管工事現場で活躍する WES 資格保有者

2010 年 WES 2 級を取得

1 級に興味、将来は現場の溶接管理を志望 溶接歴 20 年以上、「溶接士でよかった」

JFE エンジニアリングは 1950 年、国内初となる全周アーク溶接による導管を敷設して以来、東京ガス、大阪ガス、東邦ガスをはじめとする全国のガス事業者向けに主要な導管だけで総延長 1 万 3,000 km を超える都市ガス導管を敷設している。東京、大阪、愛知には合計約 100 人の社内溶接士を擁する。豊富な経験と優れた技術力をもとに、都市ガス導管建設におけるトップランナーとして、経済性に優れ高品質な都市ガス導管を提供する。今回は高圧幹線ガスパイプラインの工事現場を訪ね、溶接歴 20 年を超える WES2 級資格保有者、光森聡氏に話を聞いた。

JFE エンジニアリング株式会社
パイプライン本部 ガス導管事業部
光森 聡 氏



光森氏は 2010 年 9 月 1 日付で WES2 級の認証を受けた。「社内で受験希望者を募った際、自ら手を上げた。WES については溶接を管理する立場の資格という印象があった。ちょうどそのころはけがを負い現場に出ることができなかつたため、空いた時間を活用しながら数ヵ月間、テキストを中心に勉強し、最初に受験した 10 年度前期試験で合格した」

同社のガス導管に携わる社内溶接士の中にはもともと WES 特別級や 1 級資格取得者が在籍してきた歴史があり、溶接に関する様々な工程の中でも管理者を目指そうという意識は高く脈々と受け継がれている。取材に同席した同社パイプライン本部技術部溶接技術グループの勝木誠グループマネジャーは、同社溶接士と WES 資格の関係について「(光森氏) 本人はまだ WES 資格を保有してどこまで評価されているのかピンとこない部分があるかもしれない。当社の歴代溶接士は WES 資格保有者が比較的多く、経験を積み上位の資格を目指すことで WES 資格を持つ先輩は代々、大きな仕事を任されるようになった」と指摘する。

13年12月中旬の取材時、光森氏が従事する今回のガスパイプライン現場では、約1,000リング（継手）の溶接施工が完了した段階で溶接部の不良率は0%で推移していた。「個人的にもこの段階で0%は初めて。0.5%が一つの目標とされるなか、不良率0%で溶接リング数が1,000を超すことは画期的であり、関係者の間でも話題となっている。個人的には担当業務を全うするのみ。14年10月まで工事が続く中、溶接リング数の累計2,400まで0%だったら大きなニュースになる」（光森氏）

光森氏は14年1月で38歳になった。溶接歴はすでに20年を超える。

「中学卒業後、偶然募集のあった訓練校機械科に入校。技能教育の一環でアーク溶接特別教育、ガス溶接技能講習を受講した。1年間の訓練期間を終え、4月から現在の会社に入社した」入社後は約1年間実習に取り組んだ。

「30数人の同僚と被覆アーク溶接の技能向上に取り組んだ。溶接部にRTを適用して内部をみたりしたもの、改めて振り返れば、当時は溶接に関して十分理解していなかった」

実習が終わると工場に配属され、18歳から現場に出た。光森氏はベテラン溶接士と出会い、19～20歳にかけて「溶接が上手になりたい」と強く感じるようになった。

「現場ではベテランの溶接士が若手を指導する。お世話になった先輩は現在60歳半ば。厳しい先輩だったが溶接は確かで欠陥が出ない。考えて溶接するよう教えを受け、当時はひたすら溶接に取り組んだ。現場のないときは工場に行って練習したこともあった。ベテランと同じような溶接はできないものの、とにかく上手になりたかった」

先輩の指導を糧に技量を磨いた光森氏はその後現場経験を重ねていく。ここ5年間だけに限ってみても、その溶接実績一覧には膨大なプロジェクトが記載されており、様々な高圧ガスパイプラインに従事していたことがわかる。「ラインがつながったときには達成感がある。現状、高圧ガスパイプラインはマグの自動溶接が主流。自らの手で溶接するのは例えばティグで初層を巻く場合や、1MPa以下の中圧導管溶接を被覆アークで裏波を出す場合に限られる。ただ最近あまり被覆アーク溶接で溶接する機会がない」

光森氏はWES2級資格取得を機に「仕事に臨む考え方が変わった」と話す。「上位資格の1級に興味がある。将来は現場で溶接管理に携わりたい」

「あなたにとって溶接とは」との問いに光森氏は「生活の糧」と答えた。

「先輩の教えを守り、手を抜かないことを心掛けてきた。入社して21年目。溶接士になってよかったと思う」

光森 聡（みつもりさとし）

神奈川県出身、38歳。

家族は妻と1男1女。

保有資格はガス事業法 TW-3P、同 S(M)、JIS Z 3801